

# WAMnet 対応のデータ出力について

## 1. はじめに

- ・ WAMnet のHP で開示されている“インターフェース仕様書”のみで作成しましたので、現時点では十分な検証テストはできていません。
- ・ WAMNET でのCSV 読込は、文字列での照合となっていますので、文字列の違いが一つでもあれば読み込みエラーになります。もし、読み込みエラーが生じた場合は会計ソフトの“勘定科目”の名称を修正するか、入力シートで直接金額を入れてください。
- ・ 対応しているCSVファイルはIF0001-01(資金)、IF0001-02(事業)、IF0001-03(貸借)です。らくらく会計では、予算、前年実績の内部取引消去には対応していませんので、IF0001-04,05,06のCSV出力は出来ないことをご了承ください。
- ・ いろいろ試して頂きながら改善を行っていきたいと思いますので、よろしくご協力をお願いいたします。

## 2. 内部取引に関する処理範囲

下図の③を想定した処理となります。

内部取引消去	
<input type="radio"/> ① 仕訳時にチェックのみで相手部門を特定しない	内部取引消去の説明はここをダブルクリック
<input type="radio"/> ② 仕訳時に相手部門を特定(画面の解像度1280以上)	
<input checked="" type="radio"/> ③ ○○区分間のみを自動で内部取引消去する【推奨】	

なお、部門計で決算書を作成するときは、“内部取引仕訳を含む”のモードで実行してください。

集計期間

会計期首 2017/04/01

自 2017 年 4 月 1 日 実行

至 2018 年 3 月 31 日 キャンセル

整理伝票の扱い

含む

整理伝票は除く

未決済伝票の扱い

含む

未決済伝票は除く

内部取引仕訳

含む

除く

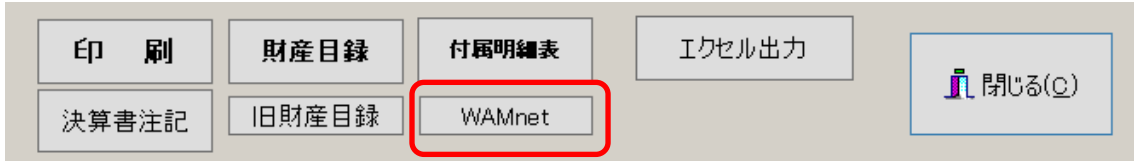
なお、内部取引が無い場合、この説明は不要です。

## 3. その他

- ✚ 必ず入力シートは複製したものでテストしてください。
- ✚ 不備な事項はお手数でもご連絡ください。
- ✚ 改善事項はこのページに記載しますので、必要に応じてバージョンアップをしてください。

#### 4. 操作の概要

メインメニューで、データを作成したい部門を選び、決算書を出力させてください。  
 決算書の画面で、WAMnet のボタンを押してください。



下記に説明する条件を設定して実行してください。

インターフェース ID	インターフェース ID は、自動的に設定されます。
法人番号	法人番号(13桁)を入れてください。
拠点名称	部門名に登録した拠点名が表示されますが、WAMNET に登録した名称と異なる場合は直してください。
サービス区分コード	WAMNET に記載されているサービス区分コードを入れます。
事業所名称	デフォルトでは会計ソフトの部門名が表示されますが、WAMNET に登録された名称に変更してください。 半角と全角文字は空白も含めて正確に入力しないとエラーになります。

#### レコード区分（資金収支及び jigyou 計算書）

0	決算の額となります。
1	内部取引消去額
2	資金収支では予算額 事業活動収支では前年度実績額

#### レコード区分（貸借対照表）

0	当年度の決算額となります。
1	前年度の決算額となります。

### 保存先フォルダの選択

あらかじめ WAMNET 用にフォルダを作成して用意してください。

指定したフォルダに出力されます。

ファイル名は自動で設定されますが出力時に確認表示が出ます。

保存先フォルダ名(保存先フォルダは予め用意してください。)

C:\WAMNET\data

### 計算書類の選択

次の選択を行ってください。

インタフェース ID も変わります。

IF0001-01(資金) IF0001-02(事業) IF0001-03(貸借)			
拠点名称	レコード区分	科目二区分	科目

### WAMNET データ変換

WaMnet データ変換のボタンを押してください。

次に“出力”ボタンを押すと、指定したフォルダにデータは保存されます。

WAMnetデータ変換 ⇒ 出力

### その他の注意

出力ファイルの拡張子は CSV ですが、通常よく使用するカンマ区切りのデータではありません。タブ区切りのデータですので、エクセルでの読込は注意してください。エクセルに読み込んだデータを加工して保存すると、WAMnet での読込が出来なくなる可能性があります。